

インホーメーション  
サーキュラー No. 5

内 容

- |  |   |
|--|---|
| I 第3回大会参加の方々へ<br>(べん当・連絡方法・会員名簿・会費納入<br>大会日程・会場案内) ..... | 1 |
| II 和文単行本「発生の制御」発刊 .....                                  | 3 |
| III 欧文誌 DGD についての報告 .....                                | 3 |
| IV 大学法反対声明決算報告 .....                                     | 4 |

日 本 発 生 生 物 学 会

京都市左京区北白川追分町

京都大学理学部植物学教室内 (606)

# I 第3回大会参加の方々へ

## 第3回大会委員会

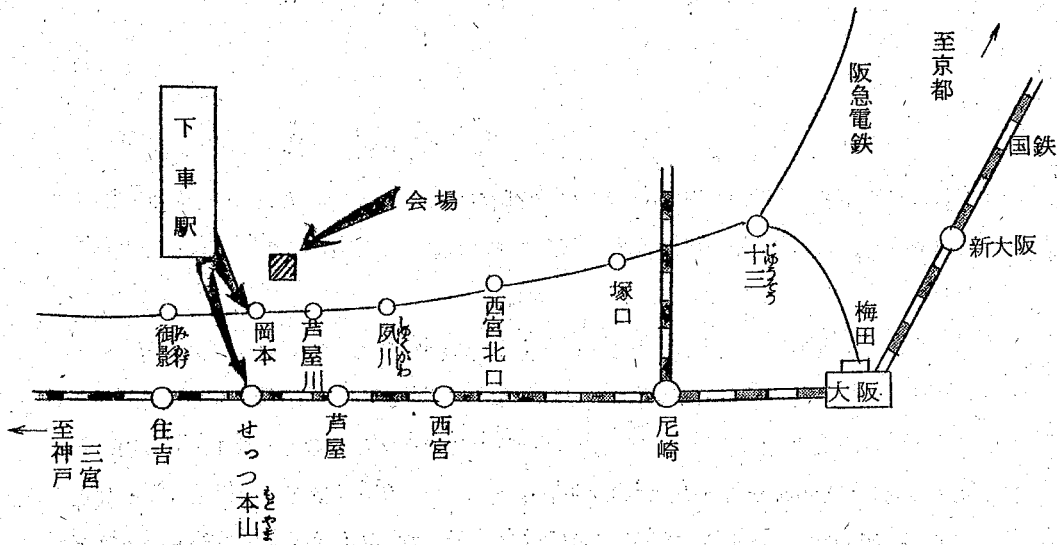
大阪市立大学が中心になって、植物生理学会と合同の大会をお世話することになりましたが、昨年来の大学紛争の影響で、多少交通に不便なところにおとし載くことになりました。その上万博の意外の余波で、宿泊にも大変御不便をおかけすることになったと存じます。しかし、出来るだけ多数御来会下さり合同大会を意味あるものにして載きたいと希望しております。プログラムと会場への案内図は参加者へは別送致しましたが、当日参加も可能ですので、出来るだけ御参会下さい。御注意載く事項日程および会場への道順は次の通りです。

1. 不便な場所ですので、薬大の食堂にて弁当(200円)を用意しておきます。
2. 緊急の連絡はTEL 078-44-0031(代表)で、交換に学会へとおつたえ下さい。  
ただし、交換は午後4時半までですので、平日でその後と土曜午後日曜は078-44-0034に学会へとお伝え下さい。
3. 合同大会第2日(3月28日)から、発牛生物学会会員に会員名簿をお渡し致しますので、受付で、会員である由申し出られて名簿をお受け取り下さい。  
その際、必ず御記名下さい。
4. 会費納入について。今年度(1969年度)会費未納の方は受付で必ず納入して下さい(和文誌のみ1,600円、欧文誌のみ2,500円、両誌とも3,400円)。  
未納の方は大会講演をおことわりすることがあります。なお、参考迄に、昨年度の会費納入者は2月末日現在で251名で、未納者が237名にもおよんでいます。大会欠席の方も、振替用紙(京都31332 代表者 日本発牛生物学会)にて至急納入下さい。

5.) 大会日程

日	時間									
	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
3月 27日	植物生理学会 一般講演					同 総 会		同 一般講演		
28日	合同シンポジウム A 生長と分化の遺伝子に よるコントロール B ケミカル・コントロール					大シンポジウム 生命現象の構成とインテ グレーション				
29日	植物生理学会 発生生物学会 一般講演					左に同じ				
30日	発生生物学会 一般講演					同 総 会		同 一般講演		

6.) 大会会場（神戸女子薬科大学）への路順



- 国鉄利用：京都，大阪方面より快速電車にて芦屋下車，普通電車でせつつ本山下車  
神戸方面より，普通電車でせつつ本山下車，徒歩20分
- 阪急利用：京都方面より，特急にて十三下車，大阪方面より梅田発の特急神戸方面ゆ  
きで西宮北口下車，普通にて岡本下車，徒歩1.5分

## Ⅱ 和文単行本発刊について

和文誌編集主幹 岡田 節 人

さきにサーキュラー№4でおつたえしましたように本学会編（編集は和文誌編集委員があたる）として岩波書店より単行本形式の不定期刊行物を出すことになりましたが、その第1回分が目下校正中で、近いうちに発行されます。表題は「院生の制御」で、内容については大会時に、その一部を御覧に入れ得る筈です。

販売につきましては、会員に限り若干の割引引きを行なうことが出来るかと存じますが、大会時に御報告致します。なお、大会御欠席の方々にも、サーキュラか、なんらかの方法で、内容およびお申し込みの方法などについてはお知らせ致します。会員の方々の積極的な御助力を給わりたくお願い申し上げます。

## Ⅲ 欧文誌DGDについての報告

欧文誌編集主幹 相山 正 雄

1. DGD 11巻3号は1月中旬までには全部発送いたしました。ただ今、4号を印刷中であり、この4号は今月末発行の予定ですが、お手許へ届くのは4月になる見込みです。
2. 12巻は、第1号を6月発行の予定。もし原稿が早く集まれば5月に繰上げたい。2月末現在、レフェリー回覧中の論文原稿は4篇あります。
3. 11巻の印刷費は、1号が39万、2号が51万、3号が40万で計130万円かかりました。4号の分を40万と予定すると、総計170万円となり、予算よりやゝ超過します。印刷費の値上りなどで止むを得ませんので、何とか工夫してしのぎたいと思います。
4. 11巻では、まだ行届かなかつたことですが、単位表記、語の省略形、文献誌名の省略形などを、12巻からもう少し統一して体裁をよくしたいと思います。編集委員会の議できまりましたら、投稿者各位の御協力をお願いいたします。

5. 今年度は科研費の刊行費補助金を12万円受けました。来年度も引き続き申請をしました。

#### Ⅳ 大学運営に関する臨時措置法反対声明の決算について

昨年の総会での決議（賛成59，反対1，白票1）に基づき決議文（サーキュラー紙4既報）を、次のような関係各方面へ送付しました。

首相・文相・両院正副議長・両院文教委員長および委員・自民党政調会長・同文教部会員・社会・公明・民社・共産各党本部と若干の役員・参院二院クラブ・学術会議・学士院および関係学会（動物・植物・遺伝・生態・生化・植物生理・物理・化学・地団研など25学会）

このための費用は、総会時に集められた5,132円（その後会場外のものを含めて5,200円）を主体とし、不足分は木戸大会委員長の寄付によりまじた。内わけは次の通りです。

印刷代	1,500円
封筒代・送料	4,350円
表書き発送準備謝礼	2,000円

計 7,850円

以上 庶務幹事